



奈良時代建立の名刹、志布志市宝満寺。神亀年間に聖武天皇が皇国鎮護のために創建したと伝えられています。この寺の境内で例年4月29日、昭和の日に行われるのが、江戸時代から続く「お釈迦まつり」です。釈迦降誕を祝う灌仏会で、かつては旧暦の4月8日に行われていたことから「しがつしようか」がなまり「しがつじよか」と呼ばれて親しまれてきました。鹿児島三大祭りのひとつで、前夜祭・本祭の両日にわたって開催。近辺の寺院境内は朝早くから人々が列をなし、小さな仏像に歳の数だけ甘茶をかけて無病息災を祈ります。



宝満寺境内に設置されたお釈迦様に甘茶をかけて洗い清める。もともとは香水(仏様に供える水)をかけていたものが江戸時代に甘茶に変化したとされる。

安産や縁結びのご利益で知られる寺にふさわしく、祭りのメインは花嫁を乗せたシャンシャン馬のパレード。艶やかな馬上の花嫁の傍らでは、花婿が手綱を引きながら通りを練り歩き、沿道の人々は新婚のカップルや結婚間近の若い2人に祝福の拍手を送ります。門前町の名残を残す古い路地いっばいに練り出される、稚児行列や踊り連。街は終日、祭り一色に染まります。

次代に遺したい伝統文化

かごしまの祭り

— 第6回 —

志布志市

お釈迦まつり

鹿児島に古くから伝わる地域の祭りや伝統行事。今回は志布志市で「お釈迦まつり」をご紹介します。

【祭りの舞台】

宝満寺公園

開催日： 4月29日(昭和の日)
 住 所： 志布志市志布志町帖6537
 交 通： 東九州自動車道「首於弥五郎 IC」から約30分
 駐車場： 約400台(臨時駐車場：無料)
 TEL： 099-472-2224
 (志布志市総合観光案内所)

